

令和5年度 学校経営計画

校長 伊達崎 広

I 目指す学校像

本校夜間定時制は、昭和23年の設置以来、社会に貢献する有為な人材を育成してきた。本校は、次の教育目標を掲げ、教職員一丸となって、目指す学校像の実現に向け教育活動を積極的に推進していく。

【教育目標】

- (1) 人間の尊厳を認識し、自他の人格を尊重し、他者の痛みがわかる心豊かな感性をもつ人間を育てる。
- (2) 真理を探究しつづける意欲と、どんな困難にも負けない自己実現に向けた不断の努力を積み重ねる人間の育成を目指す。

【目指す学校像】

- (1) 人権教育に力を入れ、いじめや差別のない学校
- (2) 生徒の生活基盤を確立させ、規律ある生活を送ることのできる学校
- (3) 生徒に基礎学力を確実につけさせ、自ら考える姿勢をはぐくむ学校
- (4) 生徒の夢や希望を大切にし、一人一人の生徒の個性を伸長する学校

II 中期的重点目標

- (1) 組織的な学校運営を推進し、支え合い、協力し合う職場をつくる。
- (2) 中途退学や不登校の防止のために、組織的な教育相談体制を確立する。
- (3) 生徒の人権意識の高揚を図るために、同和教育等の人権教育に組織全体で計画的に取り組む。
- (4) 生徒の基礎学力を確実に定着させるために、計画的な学習指導を行うとともに授業改善を徹底する。
- (5) 生徒の進路希望を実現するために、組織的、計画的なキャリア教育ときめ細かな進路指導を行う。

III 今年度の取組目標と方策

● 学習指導 【目標1】 生徒の学習意欲を高め、基礎学力の向上を図る

- (1) 全ての教科・科目において探究的な学習の取組を取り入れる。
○調べ学習、グループ協議、意見発表の取組 ○学校図書館を計画的に利用 ○ジグソー法 ○「総合」における探究学習 ○「人権」における探究学習 ○教科横断的な探究活動
- (2) 生徒一人一人の個に応じた目標を設定し、生徒の成長を支援する指導を行う。
○ユニバーサルデザインに基づく授業環境の改善 ○補習や特別授業 ○長期休業中の進路希望に応じた補習・補講 ○漢検、英検、ニュース検定等の資格取得 ○授業開始時の授業目標の明確化 ○授業内容の構造化 ○授業最後の振り返りとまとめ ○興味関心を高める工夫 ○実験・実習 ○学び合い ○学習内容の視覚化 ○ほめる指導 ○分かりやすい授業 ○生徒の個に応じた指導・支援 ○生徒の学びたいことの把握
- (3) ICTを活用した授業づくりを進める。
○一人一台端末の活用 ○オンライン授業への対応 ○採点システムの活用 ○指導内容の視覚化

● 人権教育 【目標2】 人権教育を推進し、生徒の人権意識を高める

(1) 自分を大切にするとともに他の人も大切にすることを指導、自他の命を尊重することを指導を行う。

○学校設定科目「人権Ⅰ」「演劇」「朝鮮語」「人権Ⅱ」 ○人権課題講演会 ○同和教育講演会・同和教育講座 ○芸術鑑賞教室 ○弁論大会 ○人権特設授業 ○演劇発表会

(2) 人権教育を持続可能な形で実施するための組織体制の整備、年間計画の作成を行う。

○全教員が人権教育に取り組む ○同和教育委員会の内容の共有 ○年間事業計画に基づく計画的運営 ○「人権Ⅰ」「人権Ⅱ」の指導内容の共有 ○授業資料の蓄積と共有 ○校内同和研修 ○同和資料室の整理・整頓 ○人尊校予算の有効活用

(3) 人権尊重教育推進校としての研究を推進し、研究成果を広く普及する。

○校内同和研修 ○フィールド・ワーク ○校内同和教育研修会 ○ミニ校内研修会 ○外部の研究集会や研究集会などへの参加及び実践報告 ○配布用リーフレットの作成

● 生活指導 【目標3】 安全・安心な学校生活を担保する

(1) 生活指導の方針は組織的に検討し、指導は組織全体で実施する。

○校内が一致した組織的な指導 ○ガイドラインに沿った基本的感染対策

(2) いじめや差別、暴力行為等を断じて許さない指導を徹底する

○いじめや暴力を絶対に許さない指導 ○いじめの早期発見、早期対応、組織的対応 ○コミュニケーション力の向上（構成的エンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング、ロールプレイング等）

(3) 安全指導を徹底し、警察署等関係機関と連携した講話や有識者を招いた講演会等を実施する。

○関係機関と連携したセイフティー教室、防災訓練、避難訓練 ○定型的な防災訓練、避難訓練からの脱却

(4) 規律ある生活を送らせ、マナーや規則を守る規範意識をはぐくむ。

○SNSの指導徹底 ○自転車運転の法令順守の指導徹底 ○ヘルメット着用推奨

● 進路指導 【目標4】 生徒の自立を支援し、進路希望を実現する

(1) 生徒一人一人の適性に応じた進路指導と就労支援を推進する。

○外部関係機関と連携した進路行事 ○進路指導資料の内容充実 ○進路指導資料の活用方法の工夫 ○介護体験、保育体験 ○地域行事への参加 ○ボランティア活動の推進 ○NPO法人によるワークショップ ○進路指導ニュースの定期的発行 ○YSW と連携した進路指導

(2) 採用選考における違反事例については、組織的な対応を行う。

○進路指導部と各学年の情報共有 ○指導方針の共有 ○進路指導のスケジュールの周知 ○指導上の課題の全体共有 ○定期的、計画的な進路面接の実施 ○ハローワークや労働局等との連携

● 特別活動 【目標5】 責任感と連帯感、自主性を育み、学校やホームルームへの帰属意識を高める

(1) ホームルーム活動、生徒会活動、部活動等を活性化する

○年間計画に基づいたホームルーム活動 ○構成的エンカウンターやS S Tの活用 ○委員会の活動目標の設定 ○委員会活動のスケジュールの明確化 ○委員会活動の内容の明確化 ○生徒会による生徒の要望の把握 ○生徒会との対話 ○生徒が参加する学校生活のルール作り ○民主主義を体験できる学校生活 ○部活動の目標の明確化 ○ガイドラインに沿った活動 ○年間活動計画、月間活動計画の作成 ○毎月の活動報告 ○活動内容のホームページ掲載と定期的更新

(2) 演劇発表会や弁論大会、文化祭、球技大会等の学校行事を充実させる。

○準備スケジュールの明確化 ○委員会活動内容の共有 ○生徒指導部と学年の連携 ○生徒の創意工夫の実現を支援 ○P T Aとの連携 ○保護者の参観 ○地域への配慮

● 健康づくり 【目標6】 生徒の心と身体の健康を維持・増進する

(1) 養護教諭を中心にホームルーム担任や学校医と連携し、学校保健活動を行う。

(2) 体力の向上や健康への意識を高める指導を行う。

○体力向上の取組 ○食育教育、健康教育 ○給食の喫食者の増加

(3) 組織的な教育相談をより一層推進し、外部とも連携して生徒への支援を行う。

○組織的な教育相談体制 ○生徒に寄り添う指導 ○生徒の課題解決を支援 ○スクリーニングの活用○合理的配慮の推進 ○予防的心理教育の推進 ○早期発見と事前対応 ○専門スタッフ（S C、Y S W、臨床心理士等）との連携 ○外部関係諸機関（医療機関、児童相談所、子ども家庭センター、区役所福祉課、居場所づくりN P O、少年センター、保健師、民生委員、保護司等）との連携 ○S O S の出し方に関する教育 ○自殺防止の取組

● 学校経営・組織体制

【目標7】 組織的な学校運営を推進する。

(1) 企画は主任と担当者を中心に行い、運営は全職員で取り組む。

○企画調整会議への情報の集約 ○年間計画に基づく計画的な学校運営 ○2週間前までの実施要項決定 ○電子起案の徹底 ○経営課題を解決するためのP T の活用 ○報告・連絡・相談の徹底 ○I C T の活用徹底

(2) 5 S 活動に取り組み、学習環境及び執務環境の美化、整備を進める。

○机上整理 ○定期的な職員室の大掃除 ○不要物の廃棄 ○準備室、教材室の整理整頓 ○必要な什器の補充 ○置き場所を決める ○生徒机・いすの計画的な更新 ○安全衛生委員会による執務環境の整備

【目標8】 生徒募集・広報活動を充実し、応募者を増加させる

(1) 授業公開や学校見学会等を組織的、計画的に実施し、本校の特色ある教育活動をP Rする。

○外部の学校説明会への参加 ○学校での説明会での生徒による説明・案内 ○中学校の教員向け説明会の実施 ○塾向けの説明会の実施

(2) 丁寧な広報活動と的確な情報提供により、中学生及び保護者が安心して応募できるよう支援する。

○教員による中学校や塾訪問 ○生徒による母校訪問 ○ホームページによる情報発信の充実 ○S N S を活用した広報 ○駅広報スタンドによるチラシや学校案内の配布

【目標9】保護者や地域と連携した学校づくりを進める

(1) 授業や学校行事を公開し、開かれた学校運営を推進する。

○授業公開における研究授業の実施 ○計画的な保護者会の実施 ○地域や保護者への学校行事の公開 ○葛飾区との連携 ○地域社会への貢献 ○小中学校との連携 ○地域社会への丁寧な対応 ○授業公開における研究授業の実施 ○計画的な保護者会の実施 ○地域や保護者への学校行事の公開

(2) 関係諸機関や地域と連携し、生徒の安全確保と地域に貢献する防災対策を構築する。

○消防署との連携 ○葛飾区防災部局との連携 ○地域社会と連携した訓練の企画

【目標10】教員の資質・能力を向上させ、実践的指導力のある教員を育成する

(1) 服務事故防止研修を実施し、服務事故と体罰の根絶に努める。

○服務事故防止研修 ○日常的な事故防止の注意喚起

(2) 長時間勤務の是正と教職員の意識改革を図るよう努める。

○定時退庁デー ○マイ定時退庁デーの推奨 ○産業医による面接の活用 ○計画的な夏休・年休取得の推奨

IV 今年度の数値目標

- 1 中途退学率0%、全員進級、全員卒業を目指す。(中途退学率 R2:6.1%、R3:13.8%、R4:8.4%)
- 2 学校評価アンケート「学校生活が充実している」で「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した生徒の割合75%以上 (R2:73.0%、R3:79.8%、R4:79.0%)
- 3 進路決定率を80%以上とする。(R2:76.0%、R3:76.0%、R4:75.7%)
- 4 全教員平均で夏休取得率100%、年休取得15日以上を目指す。(R4:98.2%、16.2日)

以 上